cisco.



Cisco APIC M4/L4 サーバーの設置およびサービス ガイド

初版: 2023 年 1 月 12 日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー http://www.cisco.com/jp お問い合わせ先:シスココンタクトセンター 0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む) 電話受付時間:平日 10:00~12:00、13:00~17:00 http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/ 【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ド キュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更され ている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照くだ さい。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- · Reorient or relocate the receiving antenna.
- · Increase the separation between the equipment and receiver.
- · Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- · Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第1章

新機能および変更された機能 1

新機能および変更された機能に関する情報 1

第2章 概要 3

> 概要 3 考慮事項と制限事項 3 外部機能 4 ステータス LED およびボタン 7 前面パネルの LED 7 背面パネルの LED 10 内部診断 LED 11 サービス可能なコンポーネントの場所 13 サーバ機能の概要 15

第3章 サーバのインストール 21

設置の準備 21

設置に関する警告とガイドライン 21

アース要件 23

ラックに関する要件 24

ラックへのサーバの設置 25

ケーブルマネジメントアームの取り付け(オプション) 27

ケーブル管理アームの反転取り付け(オプション) 29

サーバの初期設定 29

設定のためのサーバへのローカル接続 30

リモート接続によるサーバの設定 31
Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムの設定 33
NIC モードおよび NIC 冗長化の設定 35
BIOS および Cisco IMC のファームウェアの更新 35
システム BIOS へのアクセス 36
スマート アクセス (シリアル) 36
スマート アクセス (USB) 37

付録 A: サーバの仕様 39

サーバの仕様 39
物理仕様 39
環境仕様 40
ネットワーク インターフェイス カードに関する考慮事項 41
電力仕様 42
770 W AC 電源装置 43
1050 W DC 電源装置 43
電源コードの仕様 44



新機能および変更された機能

•新機能および変更された機能に関する情報(1ページ)

新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、この最新リリースまでの主な変更点の概要を示したものです。ただし、 今リリース までの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

表 1: Cisco APIC M4/L4 の新機能と変更情報

Cisco APIC のリリー スバージョン	機能	説明
5.3(1)	Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) サーバーM4およびL4のサポー ト。	Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) リリース 5.3(1) で は、Cisco APIC M4/L4 サーバーのサ ポートが追加されました。



概要

- •概要 (3ページ)
- •考慮事項と制限事項(3ページ)
- 外部機能 (4 ページ)
- •ステータス LED およびボタン (7ページ)
- ・サービス可能なコンポーネントの場所 (13ページ)
- サーバ機能の概要(15ページ)

概要

Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) リリース 5.3(1) では、Cisco APIC サー バー M4 および L4 のサポートが追加されました。

Cisco APIC サーバー M4 および L4 (APIC-SERVER-M4 および APIC-SERVER-L4) : 10 ドライ ブ HD バックプレーン フロント パネル構成付き小型フォーム ファクタ (SFF) ドライブ。

- このフロントローディング ドライブ ベイ 1 ~ 10 は、2.5 インチ SAS/SATA ドライブをサポートします。
- ・オプションとして、フロントローディングドライブベイ 1~4 は、2.5 インチ NVMe SSD (オプションの前面 NVMe ケーブル付き)をサポートします。

考慮事項と制限事項

Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) サーバー M4 および L4 (APIC-SERVER-M4 および APIC-SERVER-L4) には、次の考慮事項と制約事項があります。

- ・以前の Cisco APIC 世代のデュアル 1 Gb/10 Gb イーサネットポート(LAN1 および LAN2) の役割は、mLOM カードとそのカードで使用可能なポートに移動されました。
- mLomの番号付けは重要ではありません。APIC ソフトウェアはボンドインターフェイス を自動的に作成します。

前面パネルには2つのディスクがあり、そのうちの1つはバックアップとして機能します。

概要

- スロット1の1.6 TB NVME
- スロット 5 の 480 GB SSD

外部機能

このトピックでは、各サーバーバージョンの外部機能について説明します。

Cisco APIC M4 および L4 サーバー (SFF ドライブ)の前面パネルの機能

次の図に、小型フォームファクタのドライブバージョンのサーバの前面パネルの機構を示します。

図 1: Cisco APIC M4 および L4 サーバー (SFF ドライブ) の前面パネル



1	ドライブベイ1~10はSAS/SATA ハードディスクドライブ(HDD) お よびソリッドステートドライブ (SSD)をサポート。 オプションとして、ドライブベイ1 ~4には最大4台のNVMeドライブ を搭載できます。最大で4台である こと以外に、台数に制限はありませ ん。ドライブベイ5~10は、 SAS/SATA HDDまたはSSDのみをサ ポートします。 APIC Server-M4 およびL4—ドライ ブベイ1~10は、2.5インチNVMe のみのSSDをサポートします。 APIC-Server-M3 およびL3:ドライブ ベイ1および2でNVMe PCIe SSDを サポートします。	2	ユニット識別ボタン/LED
3	電源ボタン/電源ステータス LED	4	KVM コネクタ (DB-15 VGA X 1、DB-9 シリアル X 1、USB 2.0 X 2 を装備した KVM ケー ブルの接続用)
5	システム LED クラスタ : ・ファン ステータス LED ・システム ステータス LED ・電源装置ステータス LED ・ネットワーク リンク アクティビ ティ LED ・温度ステータス LED		1
1	1	1	

Cisco APIC M4 および L4 サーバーの背面パネルの機能

背面パネルの機能は、サーバーのバージョンすべてで同一です。

図 2: Cisco APIC M4 および L4 サーバーの背面パネル



- APIC-P-I8D25GF の 10/25GbE ポートは、10G または 25G ポートとして使用できます。す べてのポートが同じ速度である必要があります。
- Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) リーフと Cisco APIC M4/L4 間の 25G 接続には、銅ケーブルを使用する必要があります。たとえば、Cisco SFP-H25G-CU1M。次のトランシーバオプションのリストを酒匂にしてください。
 www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/transceiver-modules/datasheet-c78-736950.html
- APIC-P-ID10GC は、Cisco ACI リーフノードへの 10G Base-T 接続をサポートします。

ステータス LED およびボタン

前面パネルの LED

図 3:前面パネルの LED



表 2:前面パネル LED、状態の定義

	LED 名		状態
1	SAS/SATA	ドライブの障害	・消灯:ハードドライブは正常に動作中です。
SAS	(注)	NVMe ソリッド ステート	 オレンジ:ドライブ障害が検出されました。
		ドフイフ(SSD)ドフイブ トレイの LED の動作は、	•オレンジの点滅:デバイスの再構成中です。
		SAS/SATA ドライブ トレ イとは異なります。	•1秒間隔のオレンジの点滅:ソフトウェアでドライ ブ位置特定機能がアクティブ化されました。
2	SAS/SATA	ドライブ アクティビティ	 ・消灯:ハードドライブトレイにハードドライブが
SAS			存在しません(アクセスなし、障害なし)。
			 ・緑:ハードドライブの準備が完了しています。
			 ・緑の点滅:ハードドライブはデータの読み取り中または書き込み中です。

1 NVMe	NVMe SSD ドライブ障害	 ・消灯:ドライブは使用されておらず、安全に取り 外すことができます。
	ドライブ(SSD)ドライブ トレイの LED の動作は、 SAS/SATA ドライブトレ イとは異なります。	 ・緑色:ドライブは使用中で、正常に機能しています。 ・緑の点滅:ドライバは挿入後の初期化中、またはイジェクトコマンドの後のアンロード中です。 ・オレンジ:ドライブで障害が発生しています。 ・オレンジの点滅:ソフトウェアでドライブ検出コマンドが発行されました。
2	NVMe SSD アクティビティ	 ・消灯:ドライブが動作していません。
NVMe		•緑の点滅:ドライブは動作中です。
3	電源ボタン/LED	 ・消灯:サーバにAC電力が供給されていません。 ・オレンジ:サーバはスタンバイ電源モードです。 Cisco IMCと一部のマザーボード機能にだけ電力が 供給されています。 ・緑:サーバは主電源モードです。すべてのサーバ コンポーネントに電力が供給されています。
4	ユニット識別	 ・消灯:ユニット識別機能は使用されていません。 ・青の点滅:ユニット識別機能がアクティブです。

I

5	システムヘルス	 ・緑:サーバは正常動作状態で稼働しています。
		 緑の点滅:サーバーはシステムの初期化とメモリ チェックを行っています。
		 オレンジの点灯:サーバは縮退運転状態にあります(軽度な障害)。次に例を示します。
		・電源装置の冗長性が失われている。
		• CPU が一致しない。
		 ・少なくとも1つの CPU に障害が発生している。
		 ・少なくとも1つの DIMM に障害が発生している。
		 RAID構成内の少なくとも1台のドライブに障害が発生している。
		 オレンジの点滅(2回):システムボードで重度の 障害が発生しています。
		 オレンジの点滅(3回):メモリ(DIMM)で重度の障害が発生しています。
		 オレンジの点滅(4回): CPU で重度の障害が発 生しています。
6	電源の状態	・緑:すべての電源装置が正常に動作中です。
		 オレンジの点灯:1台以上の電源装置が縮退運転状態にあります。
		 オレンジの点滅:1台以上の電源装置が重大な障害 発生状態にあります。
7	ファンの状態	•緑:すべてのファン モジュールが正常に動作中で す。
		•オレンジの点滅 : 1つ以上のファンモジュールで回 復不能なしきい値を超えました。

8	ネットワーク リンク アクティビティ	• 消灯:イーサネット LOM ポート リンクがアイド ル状態です。	
		 緑:1つ以上のイーサネットLOMポートでリンク がアクティブになっていますが、アクティビティ は存在しません。 	
		 緑の点滅:1つ以上のイーサネットLOMポートで リンクがアクティブになっていて、アクティビティ が存在します。 	
		(注)	Intel NICには、次の LED ステータスが 表示される場合があります。
			•緑色:10Gbps
			• 黄色:10G 速度(10Gbase-SR-S ト ランシーバあり)
			•黄色:5/2.5/1Gbps
			 緑色の点滅:データを送信または 受信しています。
			• 消灯:リンクなし。
9	温度	 緑:サー 	バは正常温度で稼働中です。
		・オレンジ しきい値	の点灯:1 個以上の温度センサーで重大な を超えました。
		•オレンジ 能なしき	の点滅:1個以上の温度センサーで回復不 い値を超えました。

背面パネルの LED

図 **4**:背面パネル *LED*



内部診断 LED

表 3:背面パネル LED、状態の定義

	LED の名称	状態
4	システム識別 LED	 消灯:システムは動作していません。
		 オレンジ:重大なエラーが検出されました。
		•緑:システムが正常に動作していることを示しま す。
	電源ステータス(各電源装置に1	AC 電源装置:
	つの LED)	 ・消灯:AC入力なし(12V主電源はオフ、12Vス タンバイ電源オフ)。
		 ・緑の点滅:12V主電源はオフ、12Vスタンバイ電源はオン。
		 ・緑の点灯:12V主電源はオン、12Vスタンバイ電 源はオン。
		 オレンジの点滅:警告しきい値が検出されました が、12V主電源はオン。
		 オレンジの点灯:重大なエラーが検出されました。 12 V 主電源はオフです(過電流、過電圧、温度超 過などの障害)。
		DC 電源装置:
		 ・消灯: DC入力なし(12V主電源はオフ、12Vス タンバイ電源はオフ)。
		 ・緑の点滅:12V主電源はオフ、12Vスタンバイ電 源はオン。
		 ・緑の点灯:12V主電源はオン、12Vスタンバイ電 源はオン。
		 オレンジの点滅:警告しきい値が検出されました が、12 V 主電源はオン。
		 オレンジの点灯:重大なエラーが検出されました。 12 V 主電源はオフです(過電流、過電圧、温度超 過などの障害)。

内部診断 LED

I

サーバーには、CPU、DIMM、およびファンモジュールの内部障害 LED があります。

図 5: 内部診断 LED の位置



サービス可能なコンポーネントの場所

ここでは、フィールドで交換可能なコンポーネントとサービス関連の品目の場所を示します。 次の図に、上部カバーを取り外した状態のサーバーを示します。

図 6: Cisco APIC M4 および L4 サーバー、サービス可能なコンポーネントの場所



1	フロントローディング ドライブベ イ1~10は SAS/SATA/NVMe ドラ イブをサポート。	2	Cisco M6 12G SAS RAID カードまたは Cisco M6 12G SAS HBA コントローラ
3	冷却ファン モジュール、8 台。 各ファンはホットスワップ可能で す	4	SuperCap モジュールの取り付けブラ ケット この場所に取り付ける SuperCap モ ジュール (図には示されていません) は、RAID 書き込みキャッシュのため のバックアップを提供します。

5	マザーボード上の DIMM ソケッ ト、合計 32 個(CPU あたり 16 個) CPU は、上部の CPU の上と下部の CPU の下に 8 個のソケット グルー プに配置され、CPU 間に 16 のソ	6	マザーボード CPU ソケット 2 (CPU2)
7	ケットがあります。 マザーボード CPU ソケット 1 (CPU1)	8	M.2 モジュールコネクタ 最大 2 台の SATA M.2 SSD へのコネク タを備えたブート最適化 RAID コント ローラをサポート
9	電源ユニット(PSU)、2 基	10	PCIe ライザー スロット 2
11`	PCIe ライザー スロット1:	12	シャーシフロア(x16PCIeレーン)上 のモジュラ LOM(mLOM)カードベ イ

図 7:3つのライザー構成サービス可能コンポーネントの場所



3	冷却ファンモジュール、8台。	4	SuperCap モジュールの取り付けブラ ケット
	各ファンはホットスワップ可能で す		この場所に取り付ける SuperCap モ ジュール(図には示されていません) は、RAID 書き込みキャッシュのため のバックアップを提供します。
5	マザーボード上の DIMM ソケッ ト、合計 32 個(CPU あたり 16 個)	6	マザーボード CPU ソケット 2 (CPU2)
	CPUは、上部のCPUの上と下部の CPUの下に8個のソケットグルー プに配置され、CPU間に16のソ ケットがあります。		
7	マザーボード CPU ソケット1	8	M.2 モジュールコネクタ
	(CPU1)		最大 2 台の SATA M.2 SSD へのコネク タを備えたブート最適化 RAID コント ローラをサポート
9	電源ユニット(PSU)、2 基	10	PCIe ライザースロット 3
11`	PCIe ライザー スロット 2	12	シャーシフロア(x16PCIeレーン)上 のモジュラ LOM(mLOM)カードベ イ

サーバ機能の概要

カードベイ

シャーシフロア(x16 PCIe レー ン)上のモジュラLOM(mLOM)

以下の表に、サーバ機能の概要を示します。

機能	説明
シャーシ	1ラックユニット(1RU)シャーシ
セントラル プロセッサ	最大2ソケットの AMD Zen2/3アーキテクチャ(Rome /Milan プロセッサをサポート)
メモリ	32 個の DDR4 DIMM、最大 3200 MHz(1DPC)、2933 MHz(2DPC)、RDIMM、 LRDIMM をサポート

13

I

機能	説明
マルチビット エラー保護	マルチビットエラー保護をサポートします。
ビデオ	Cisco Integrated Management Controller (CIMC) は、Matrox G200e ビデオ/グラ フィックス コントローラを使用してビデオを提供します。
	 ハードウェア アクセラレーションを備えた内蔵 2D グラフィックスコアです。
	 ・組み込み DDR4 メモリ インターフェイスは最大 512 MB のアドレス可能メ モリをサポートします (デフォルトで 8 MB がビデオ メモリに割り当てら れます)
	•最大 1920 X 1200 16bpp、60Hz のディスプレイ解像度をサポートします。
	• 高速な内蔵 24 ビット RAMDAC
	 第1世代の速度で動作するシングルレーンPCI-Expressホストインターフェイス
ベースボード管理	BMC は、Cisco IMC(Cisco Integrated Management Controller)ファームウェアを 動作させます。
	Cisco IMC の設定に応じて、1 GB 専用管理ポート、1 Gb/10 Gb イーサネット LAN ポート、または、シスコ仮想インターフェイス カードを利用して Cisco IMC に アクセスできます。
ネットワークおよび管理 I/O	背面パネル:
	•1 Gb イーサネット専用管理ポート X1(RJ-45 コネクタ)
	•RS-232 シリアル ポート(RJ-45 コネクタ)X 1
	• VGA ビデオ コネクタ ポート X 1(DB-15 コネクタ)
	• USB 3.0 ポート X 2
	 各種のインターフェイスカードを搭載できるフレキシブルモジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) /OCP 3.0 スロットx1
	・KVM コンソールコネクタ x 1(USB 2.0 コネクタ x 2、VGA DB15 ビデオコ ネクタ x 1、シリアルポート(RS232)RJ45 コネクタ x 1 を装備)
	前面パネル:
	・KVM コンソールコネクタ x 1(USB 2.0 コネクタ x 2、VGA DB15 ビデオコ ネクタ x 1、シリアルポート(RS232)RJ45 コネクタ x 1 を装備)

機能	説明
モジュール型 LAN on Motherboard(mLOM)スロット	マザーボードの mLOM/OCP 3.0 専用スロットには、次のカードを柔軟に装着で きます。
	• Cisco 仮想インターフェイス カード
	• OCP 3.0 ネットワーク インターフェイス カード(UCSC-O-ID10GC)
WoL	2 個の 1 Gb/10 Gb BASE-T イーサネット LAN ポートで Wake-on-LAN(WoL)規 格をサポートします。
電力	以下のホットスワップ可能な電源ユニットから最大2つ選択できます。
	• 770 W (AC)
	• 1050 W (AC)
	• 1050 W (DC)
	• 1600 W (AC)
	• 2300 W (AC)
	最低1台の電源ユニットが必須です。さらに1台を追加して1+1の冗長性を確 保できます。
ACPI	Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 4.0 規格をサポートしています。
前面パネル	前面パネルコントローラはステータスインジケータおよびコントロールボタン を装備しています。
冷却	ホットスワップ可能なファンモジュール(前面から背面に向かう冷却用)X8。
PCIe I/O	水平PCle拡張スロットは、PCleライザーアセンブリでサポートされています。 サーバーは、次のいずれかの設定をサポートします。
	• PCIe ライザー 1 に装着された 1 枚のハーフハイト ライザー カード
	• PCIe ライザー 1、2、3 に装着された 3 枚のハーフハイト ライザー カード
	・2 枚のフルハイト ライザー カード
InfiniBand	このサーバの PCIe バス スロットで InfiniBand アーキテクチャをサポートします。

I

機能	説明
拡張スロット	ハーフハイトスロットX3
	 ライザー1(CPU1が制御): 1 x16 PCIe Gen4 スロット、(Cisco VIC)、 ハーフハイト、3/4 レングス
	• ライザー 2 (CPU 1 が制御) : 1 x16 PCIe Gen4 スロット、電気的 x8、ハーフハイト、3/4 レングス
	 ライザー3(CPU1が制御): 1 x16 PCIe Gen4 スロット、(Cisco VIC)、 ハーフハイト、3/4 レングス
	フルハイト ライザー スロット X 2
	 ライザー1(CPU1が制御): 1 x16 PCIe Gen4 スロット、(Cisco VIC)、 フルハイト、3/4 レングス
	• ライザー 3 (CPU 1 が制御) : 1 x16 PCIe Gen4 スロット、 (Cisco VIC) 、 フルハイト、3/4 レングス
インターフェイス	背面パネル:
	•1 つの 1Gbase-T RJ-45 管理ポート
	•RS-232 シリアル ポート(RJ45 コネクタ)x 1
	• DB15 VGA コネクタ×1
	• USB 3.0 ポートコネクタ x 2
	•各種のインターフェイス カードを搭載できるフレキシブル モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM) スロット x 1
	前面パネル:
	• KVM コンソール コネクタ X1(USB 2.0 コネクタ X 2、
	• VGA DB15 ビデオ コネクタ X 1、およびシリアルポート(RS232)RJ45 コ ネクタX 1)
ストレージ、前面パネル	Cisco APIC M4 および L4 (APIC-SERVER-M4 および APIC-SERVER-L4) : サー バーは、前面パネル/ドライブ バックプレーン構成が異なる 4 種類のバージョン で注文可能です。

機能	説明
ストレージ、内部	サーバには、以下の内蔵ストレージオプションがあります。
	• マザーボード上の USB ポート X 1。
	 ミニストレージモジュールソケット。オプションで次のいずれかが付属します。
	•SD カードモジュール。最大2枚の SD カードをサポート。
	• M.2 SSD モジュール。2 つの SATA M.2 SSD または 2 つの NVMe M.2 SSD のいずれかをサポートします。
	• PCIe ライザー1の microSD カードソケット X 1。
	• 容量の異なる SATA M.2 SSD の同時使用はサポートされません。
	・また、USB3.0 TypeA コネクタもサポートしています。
組み込み管理プロセッサ	Cisco Integrated Management Controller (CIMC) ファームウェアを実行するベースボード管理コントローラ (BMC)。
	CIMC の設定に応じて、1GE 管理専用ポート、1GE/10GE LOM ポート、または Cisco 仮想インターフェイス カード (VIC) を介して CIMC にアクセスできま す。
	CIMC はサーバ内の特定のコンポーネント(Cisco 12G SAS HBA など)を管理します。
ストレージョントローラ	Cisco 12G SAS RAID コントローラまたは Cisco 12G SAS HBA を専用スロットに 接続します。一度に使用できるのは、一度に 1 つだけです。
	• Cisco 12G SAS RAID コントローラ
	• RAID サポート (RAID 0、1、5、6、10、50、60、SRAID 0、および JBOD モード)
	• 最大 10 台の SAS/SATA 内蔵ドライブをサポートします。
	・ドライブ バックプレーンに接続
	• Cisco 12G SAS HBA
	• RAID はサポートされません
	JBOD/パススルー モードのサポート
	最大 10 台の SAS/SATA 内蔵ドライブをサポートします。
	ドライブ バックプレーンに接続

機能	説明
モジュール型 LAN on Motherboard(mLOM)スロット	マザーボードの mLOM 専用スロットには、次のカードを柔軟に装着できます。 ・シスコの仮想インターフェイス カード (VIC)
RAID バックアップ	サーバには、Cisco モジュラ RAID コントローラ カードで使用される SuperCap ユニットの冷却ファンの近くに取り付けブラケットがあります。
統合ビデオ	統合 VGA ビデオ。
Intersight	Intersight は、サーバ管理機能を提供します。



サーバのインストール

- 設置の準備 (21ページ)
- ラックへのサーバの設置(25ページ)
- ・サーバの初期設定(29ページ)
- NIC モードおよび NIC 冗長化の設定 (35 ページ)
- BIOS および Cisco IMC のファームウェアの更新 (35 ページ)
- ・システム BIOS へのアクセス (36 ページ)
- •スマートアクセス(シリアル) (36ページ)
- •スマートアクセス (USB) (37 ページ)

設置の準備

ここでは、次の内容について説明します。

設置に関する警告とガイドライン

(注) サーバの設置、操作、または保守を行う前に、『規制コンプライアンスと安全性情報』を参照して重要な安全情報を確認してください。

Â

警告 安全上の重要事項

この警告マークは「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されていま す。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策に留 意してください。各警告の最載されているステートメント番号を基に、装置に付属の安全につ いての警告を参照してください。

ステートメント 1071

警告 システムの過熱を防ぐため、最大推奨周囲温度の 35°C(95°F)を超えるエリアで操作しない でください。

ステートメント 1047

A

Â

警告 いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。

ステートメント 1019

ß

警告 機器の取り付けは各地域および各国の電気規格に適合する必要があります。

ステートメント 1074

Â

警告 この装置は、立ち入りが制限された場所への設置を前提としています。立ち入り制限区域とは、特別な器具、鍵、錠、またはその他の保全手段を使用しないと入ることができないスペースを意味します。

ステートメント 1017

Â

警告 この製品は設置する建物に回路短絡(過電流)保護機構が備わっていることを前提に設計されています。保護デバイスの定格電流が20A(北米)、16A(ヨーロッパ)、および13A(英国)を超えていないことを確認します。

ステートメント 1005

Æ

注意 サーバを取り付ける際は、適切なエアーフローを確保するために、レールキットを使用する必要があります。レールキットを使用せずに、ユニットを別のユニットの上に物理的に置く、つまり「積み重ねる」と、サーバの上部にある通気口がふさがれ、過熱したり、ファンの回転が速くなったり、電力消費が高くなったりする原因となる可能性があります。サーバをラックに取り付けるときは、これらのレールによりサーバ間で必要な最小の間隔が提供されるので、レールキットにサーバをマウントすることを推奨します。レールキットを使用してユニットをマウントする場合は、サーバ間の間隔を余分にとる必要はありません。



- ・空調が、環境仕様(40ページ)に記載された温度要件に適合していることを確認します。
- キャビネットまたはラックが、ラックに関する要件(24ページ)に記載された要件に適合していることを確認します。
- •設置場所の電源が、電力仕様(42ページ)に記載された電源要件に適合していることを 確認します。使用可能な場合は、電源障害に備えて無停電電源装置(UPS)を使用してく ださい。

アース要件

スイッチは、電源によって供給される電圧の変動の影響を受けます。過電圧、低電圧、および 過渡電圧(またはスパイク)によって、データがメモリから消去されたり、コンポーネントの 障害が発生するおそれがあります。このような問題から保護するために、スイッチにアース接 続があることを確認してください。スイッチのアースパッドは、アース接続に直接接続する か、完全に接合されてアースされたラックに接続できます。

アースされたラックに正しくシャーシを取り付けている場合、スイッチはラックに金属間接続 されているためアースされています。または、お客様が準備したアースケーブルを使用して シャーシをアースすることもできます。その場合、地域および国の設置要件を満たすアース ケーブルを使用する必要があり(米国での設置の場合は6AWGワイヤを推奨)、アースラグ (スイッチのアクセサリーキットで提供)を使ってシャーシに接続してから設置場所のアース に接続します。



(注) AC 電源に接続すると、AC 電源モジュールが自動的にアースされます。DC 電源モジュールの 場合、電源モジュールを DC 電源に配線するときにアース線を接続する必要があります。

ラックに関する要件

次のタイプのラックを使用する必要があります。

- ・標準的な 19 インチ(48.3 cm) 幅 4 支柱 EIA ラック(ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠した英国ユニバーサル ピッチに適合するマウント支柱付き)。
- ・シスコが提供するスライドレールを使用する場合、ラック支柱の穴は、0.38 インチ(9.6 mm)の正方形、0.28 インチ(7.1 mm)の丸形、#12-24 UNC、または #10-32 UNC になります。
- ・サーバーあたりの縦方向の最小ラックスペースは、1 ラックユニット(RU)、つまり
 44.45 mm(1.75 インチ)である必要があります。

サポートされている Cisco スライド レール キット

サーバでは、次のレール キット オプションがサポートされています。

- ・シスコ部品 UCSC-RAILB-M6=(ボールベアリング スライド レール キット)。
- ・シスコ部品 UCSC-CMA-C220M6=(ケーブル マネジメント アーム)

必要なラック取り付け工具

このサーバ用にシスコが販売するスライド レールの場合、設置に必要な工具はありません。

スライド レールおよびケーブル管理アームの寸法

このサーバのスライドレールの調整範囲は24~36インチ(610~914 mm)です。

オプションのケーブル管理アーム(CMA)には、長さに関する追加の要件があります。

- ・サーバの背面から CMA の背面までの追加の距離は、5.4 インチ(137.4 mm)です。
- CMA を含むサーバ全体の長さは 35.2 インチ(894 mm)です。

ラックへのサーバの設置

Â 警告

告 ラックにこの装置をマウントしたり、ラック上の装置の作業を行うときは、ケガをしないように、装置が安定した状態に置かれていることを十分に確認してください。次の注意事項に従ってください。

ラックにこの装置を一基のみ設置する場合は、ラックの一番下方に設置します。

ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い 順に下から上へ設置します。

ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。

ステートメント 1006

- ステップ1 サーバーの側面に内側レールを装着します。
 - a) レール内の3つのキー付きスロットがサーバー側面の3個のペグの位置に合うように、内側レールを サーバーの一方の側の位置に合わせます。
 - b) キー付きスロットをペグに設定し、レールを前面に向けてスライドさせて、ペグの所定の位置にロッ クします。前面スロットには、前面ペグにロックするための金属製クリップがあります。
 - c) 2 つ目の内側レールをサーバーの反対側に取り付けます。

図8:サーバ側面への内側レールの取り付け



ステップ2 両方のスライドレール部品で前面の固定プレートを開きます。スライドレール部品の前端に、バネ仕掛けの固定プレートがあります。取り付けペグをラック支柱の穴に挿入する前に、この固定プレートが開いている必要があります。

部品の外側で、背面を向いている緑色の矢印ボタンを押して、固定プレートを開きます。

図 9:前面の固定部分、前端の内側



- ステップ3 外側のスライドレールをラックに取り付けます。
 - a) 片側のスライドレール部品の前端を、使用する前面ラック支柱の穴の位置に合わせます。

スライドレールの前部がラック支柱の外側を回り込むように配置され、取り付けペグが外側の前部か らラック支柱の穴に入ります。

- (注) ラック支柱は、取り付けペグと開いた固定プレートの間にある必要があります。
- b) 取り付けペグを、外側前面からラック支柱の穴に差し込みます。
- c) 「PUSH」のマークが付いた固定プレートのリリースボタンを押します。ばね仕掛けの固定プレートが 閉じて、ペグが所定の位置にロックされます。
- d) スライドレールの長さを調整したら、背面取り付けペグを対応する背面ラック支柱の穴に差し込みま す。スライドレールは前面から背面に向かって水平である必要があります。

背面取り付けペグを、ラック支柱の内側から背面ラック支柱の穴に入れます。

- e) 2つ目のスライドレール部品を、ラックの反対側に取り付けます。2つのスライドレール部品が同じ 高さであり、水平になっていることを確認します。
- f) 所定の位置に収まって留まるまで、各部品の内側のスライドレールをラック前方へ引き出します。
- **ステップ4** サーバを次のようにスライド レールに装着します。
 - 注意 このサーバは、コンポーネントがフルに搭載されている場合、最大で29kg(64 ポンド)の重 量になります。サーバを持ち上げるときは、2人以上で行うか、リフトを使用することを推奨 します。この手順を1人で実行しようとすると、怪我や機器の損傷を招くおそれがあります。
 - a) サーバーの側面に装着されている内側レールの後端を、ラック上の空のスライドレールの前端の位置 に合わせます。
 - b) 内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライド レールに押し込みます。
 - c) 両方の内側レールで内側レール リリース クリップを背面に向けてスライドさせたら、前面のスラム ラッチがラック支柱に収まるまで、サーバーをラックに押し込みます。

図 10: 内側レール リリース クリップ



ステップ5 (オプション)スライドレールに付属の2本のネジを使用して、サーバをさらに確実にラックに固定しま す。サーバーを取り付けたラックを移動する場合は、この手順を実行します。

サーバをスライドレールに完全に押し込んだ状態で、サーバ前面のヒンジ付きスラムラッチのレバーを開き、レバーの下にある穴からネジを挿入します。ネジがラック支柱のレールの静止部分に挿入され、サーバが引き抜かれるのを防ぎます。反対のスラムラッチについても行ってください。

ケーブルマネジメントアームの取り付け(オプション)



- (注) ケーブルマネジメントアーム (CMA) は、左右を逆にして取り付けることができます。CMA を逆に取り付けるには、取り付ける前に ケーブル管理アームの反転取り付け (オプション) (29 ページ) を参照してください。
- ステップ1 サーバをラックに完全に押し込んだ状態で、サーバから最も離れた CMA アームの CMA タブを、ラック支 柱に装着された固定スライドレールの終端にスライドさせます。カチッと音がしてロックされるまで、タ ブをレールの終端にスライドさせます。

図 11: CMA のスライド レール後方への取り付け



- **ステップ2** サーバに最も近い CMA タブを、サーバに装着された内側レールの終端にスライドさせます。カチッと音 がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。
- ステップ3 ラックの幅に一致するまで、CMA アセンブリの反対側の終端にある幅調整スライダを引き出します。
- **ステップ4** 幅調整スライダの終端にある CMA タブを、ラック支柱に装着された固定スライド レールの終端にスライ ドさせます。カチッと音がしてロックされるまで、タブをレールの終端にスライドさせます。
- **ステップ5** 各プラスチック製ケーブルガイドの上部でヒンジ付きフラップを開き、必要に応じてケーブルガイドを通してケーブルを配線します。

ケーブル管理アームの反転取り付け(オプション)

- **ステップ1** CMA アセンブリ全体を左から右に 180 度回転させます。プラスチック製ケーブル ガイドは、上向きのままにしておく必要があります。
- ステップ2 CMA アームの両端にあるタブを反転させ、サーバの背面を向くようにします。
- ステップ3 幅調整スライダの終端にあるタブを回転させます。タブの外側の金属製ボタンを押したままタブを 180 度 回転させ、サーバの背面を向くようにします。

図 12: CMA の反転



サーバの初期設定

(注) ここでは、サーバをスタンドアロンモードで使用する場合のサーバの電源投入方法、IPアドレスの割り当て方法、サーバ管理への接続方法について説明します。

サーバのデフォルト設定

サーバは次のデフォルト設定で出荷されます。

•NIC モードは専用です(APIC でサポートされている唯一のオプション)。

- ・専用 NIC モードの場合、NIC の冗長性はありません。
- DHCP は有効になっています。
- IPv4 は有効です。

接続方法

システムに接続して初期設定を行うには、次の2つの方法があります。

- ローカル設定:キーボードとモニタをシステムに直接接続して設定を行う場合は、この手順を使用します。この手順では、KVMケーブル(Cisco PID N20-BKVM)またはサーバの背面にあるポートを使用できます。
- •リモート設定:専用管理LAN 経由で設定を行う場合は、この手順を使用します。



(注) システムをリモートで設定するには、システムと同じネットワーク上にDHCPサーバが存在する必要があります。このサーバノードのMACアドレスの範囲を、DHCPサーバにあらかじめ設定しておく必要があります。MACアドレスは、前面パネルの引き抜きアセットタグにあるラベルに印字されています。このサーバノードでは、Cisco IMC に6つのMACアドレスの範囲が割り当てられています。ラベルに印字されているMACアドレスは、6つの連続するMACアドレスの範囲のうち最初のものです。

ここでは、次の内容について説明します。

設定のためのサーバへのローカル接続

この手順では、次の機器が必要です。

- VGA モニタ
- ・USB キーボード
- サポートされている Cisco KVM ケーブル (Cisco PID N20-BKVM)、または USB ケーブル と VGA DB-15 ケーブル
- ステップ1 電源コードをサーバーの各電源装置に接続し、次に、接地された電源コンセントに各コードを接続します。 最初のブート中、サーバがスタンバイ電源でブートするまでに約2分かかります。システムの電源ステー タスは、前面パネルのシステムの電源ステータスLEDで確認できます。LEDがオレンジの場合、サーバは スタンバイ電源モードです。
- ステップ2 次のいずれかの方法を使用して、USB キーボードと VGA モニタをサーバに接続します。

- ・オプションの KVM ケーブル (Cisco PID N20-BKVM) を前面パネルの KVM コネクタに接続します。 USB キーボードと VGA モニタを KVM ケーブルに接続します。
- ・USB キーボードと VGA モニタを背面パネルの対応するコネクタに接続します。
- ステップ3 Cisco IMC 設定ユーティリティを開きます。
 - a) 前面パネルの電源ボタンを4秒間長押しして、サーバを起動します。
 - b) ブートアップ時に、Cisco IMC 設定ユーティリティを開くよう求められたら F8 を押します。
 - (注) Cisco IMC 設定ユーティリティを初めて開始すると、デフォルトのパスワードの変更を要求 するプロンプトが表示されます。デフォルトのパスワードはpasswordです。強力なパスワー ド機能を有効にします。

強力なパスワードの要件は、次のとおりです。

- ・パスワードは最低8文字、最大14文字とすること。
- パスワードにユーザの名前を含めないこと。
- パスワードには、以下の4つのカテゴリのうちの3つに属する文字が含まれていなければなりません。
 - 大文字の英字(A~Z)
 - 小文字の英字(a~z)
 - •10進数の数字(0~9)
 - 非英字文字(!、@、#、\$、%、^、&、*、-、_、、=、")
- ステップ4 Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムの設定 (33ページ) に進みます。

リモート接続によるサーバの設定

この手順では、次の機器が必要です。

・管理 LAN に接続した RJ-45 イーサネット ケーブル X1。

始める前に



- (注) システムをリモートで設定するには、システムと同じネットワーク上にDHCPサーバが存在す る必要があります。このサーバノードのMACアドレスの範囲を、DHCPサーバにあらかじめ 設定しておく必要があります。MACアドレスは、前面パネルの引き抜きアセットタグにある ラベルに印字されています。このサーバノードでは、Cisco IMC に 6 つの MAC アドレスの範 囲が割り当てられています。ラベルに印字されている MACアドレスは、6 つの連続する MAC アドレスの範囲のうち最初のものです。
- ステップ1 電源コードをサーバーの各電源装置に接続し、次に、接地された電源コンセントに各コードを接続します。 最初のブート中、サーバがスタンバイ電源でブートするまでに約2分かかります。システムの電源ステー タスは、前面パネルのシステムの電源ステータスLEDで確認できます。LEDがオレンジの場合、サーバは スタンバイ電源モードです。
- ステップ2 管理イーサネット ケーブルを背面パネルの専用管理ポートに差し込みます。
- ステップ3 事前設定された DHCP サーバで、サーバ ノードに IP アドレスを割り当てられるようにします。
- ステップ4 割り当てられた IP アドレスを使用して、サーバ ノードの Cisco IMC にアクセスし、ログインします。IP アドレスを特定するには、DHCP サーバの管理者に相談してください。
 - (注) サーバのデフォルトのユーザ名は admin です。デフォルトのパスワードは password です。
- **ステップ5** Cisco IMC の [サーバ サマリー (Server Summary)] ページで、[KVM コンソールの起動(Launch KVM Console)]をクリックします。別の KVM コンソール ウィンドウが開きます。
- ステップ6 Cisco IMC の [サマリー(Summary)] ページで、[サーバの電源の再投入(Power Cycle Server)] をクリッ クします。システムがリブートします。
- **ステップ1** KVM コンソール ウィンドウを選択します。
 - (注) 次のキーボード操作を有効にするには、KVM コンソール ウィンドウがアクティブ ウィンドウ である必要があります。
- ステップ8 プロンプトが表示されたら、F8を押して、Cisco IMC 設定ユーティリティを起動します。このユーティリ ティは、KVM コンソール ウィンドウで開きます。
 - (注) Cisco IMC 設定ユーティリティを初めて開始すると、デフォルトのパスワードの変更を要求するプロンプトが表示されます。デフォルトのパスワードは password です。強力なパスワード機能を有効にします。

強力なパスワードの要件は、次のとおりです。

- ・パスワードは最低8文字、最大14文字とすること。
- パスワードにユーザの名前を含めないこと。
- ・パスワードには、以下の4つのカテゴリのうちの3つに属する文字が含まれていなければなりません。
 ・大文字の英字(A~Z)

- 小文字の英字(a~z)
- 10進数の数字(0~9)
- 非英字文字(!、@、#、\$、%、^、&、*、-、_、、=、")

ステップ9 Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムの設定 (33 ページ) に進みます。

Cisco IMC 設定ユーティリティを使用したシステムの設定

始める前に

システムに接続して Cisco IMC 設定ユーティリティを開いた後、次の手順を実行します。

ステップ1 NIC モードを設定して、サーバー管理のため Cisco IMC にアクセスする際に使用するポートを選択しま す。APIC アプライアンスの Cisco IMC は、専用モードのみをサポートします。

ステップ2 専用 NIC モードでサポートされている唯一のオプションである [なし(Nome)] に NIC 冗長性を設定します。

• [なし(None)]: イーサネットポートは個別に動作し、障害が発生してもフェールオーバーを行い ません。この設定は、「専用」NICモードでのみ使用できます。

- **ステップ3** ダイナミックネットワーク設定用にDHCPを有効にするか、スタティックネットワーク設定を開始する かを選択します。
 - (注) DHCPを有効にするには、このサーバのMACアドレスの範囲をDHCPサーバにあらかじめ 設定しておく必要があります。MACアドレスはサーバ背面のラベルに印字されています。こ のサーバでは、Cisco IMCに6つのMACアドレスの範囲が割り当てられています。ラベルに 印字されているMACアドレスは、6つの連続するMACアドレスの範囲のうち最初のもので す。
 - スタティック IPv4 および IPv6 の設定を以下に示します。
 - Cisco IMC の IP アドレス。

IPv6 では、有効な値は1~127 です。

•ゲートウェイ。

IPv6では、ゲートウェイが不明な場合、:: (2つのコロン)を入力して「なし」と設定することができます。

•優先 DNS サーバアドレス。

 [[]専用(Dedicated)]: Cisco IMC へのアクセスに専用管理ポートを使用します。次の手順で、[なし (None)] NIC 冗長化設定を選択する必要があります。

IPv6 では、:: (2つのコロン)を入力して「なし」と設定することができます。

- ステップ4 (オプション)VLAN を設定します。
- ステップ5 F1を押して2番目の設定ウィンドウに移動し、次の手順に進みます。
 2番目のウィンドウでF2を押すと、最初のウィンドウに戻ることができます。
- **ステップ6** (オプション)サーバのホスト名を設定します。
- **ステップ7** (オプション)ダイナミック DNS を有効にし、ダイナミック DNS(DDNS)ドメインを設定します。
- **ステップ8** (オプション)[工場出荷時のデフォルト(Factory Default)]チェックボックスをオンにすると、サーバ は工場出荷時の初期状態に戻ります。
- **ステップ9** (オプション) デフォルトのユーザ パスワードを設定します。
 - (注) サーバの工場出荷時デフォルトのユーザ名は*admin*です。デフォルトのパスワードは*password*です。
- **ステップ10** (オプション)ポート設定の自動ネゴシエーションを有効にするか、またはポート速度とデュプレック スモードを手動で設定します。
 - (注) 自動ネゴシエーションは専用NICモードを使用する場合にのみ適用できます。自動ネゴシエーションを適用すると、サーバが接続されているスイッチ ポートに基づいて自動的にポート速度とデュプレックスモードが設定されます。自動ネゴシエーションを無効にした場合、ポート速度とデュプレックスモードを手動で設定する必要があります。
- **ステップ11** (オプション) ポート プロファイルとポート名をリセットします。
- ステップ12 F5 を押して設定を更新します。新しい設定と「ネットワーク設定が構成されました(Network settings configured)」というメッセージが表示されるまでに約 45 秒かかります。その後、次の手順でサーバを リブートします。
- **ステップ13 F10**を押して設定を保存し、サーバをリブートします。
 - (注) DHCP の無効化を選択した場合、動的に割り当てられた IP アドレスと MAC アドレスがブー トアップ時にコンソール画面に表示されます。

次のタスク

ブラウザと Cisco IMC の IP アドレスを使用して、Cisco IMC 管理インターフェイスに接続しま す。IP アドレスは、設定した内容(スタティック アドレスまたは DHCP サーバによって割り 当てられたアドレス)に基づいて決まります。



(注) サーバの工場出荷時デフォルトのユーザ名は admin です。デフォルトのパスワードは password です。

NIC モードおよび NIC 冗長化の設定

表 4: 各 NIC モードの有効な NIC 冗長化の設定

NIC モード	有効な NIC 冗長化の設定
専用	なし

APIC アプライアンスの Cisco IMC では専用モードのみがサポートされています。

CIMC 設定ユーティリティで、CIMC を設定する際に、NIC モードを Dedicated に設定します。 CIMC GUI で CIMC を設定後、以下のパラメータが設定されていることを確認します。

パラメータ(Parameters)	Settings
LLDP	VIC で無効
TPM Support	BIOS でイネーブル
TPM Enabled Status	イネーブル
所有権	所有する

BIOS および Cisco IMC のファームウェアの更新



注意 BIOS ファームウェアをアップグレードする場合、Cisco IMC ファームウェアも同じバージョン にアップグレードする必要があります。アップグレードしないと、サーバがブートしません。 BIOS と Cisco IMC のファームウェアを一致させていない限り、電源をオフにしないでください。オフにすると、サーバがブートしません。

シスコは、BIOS、CIMC、およびその他のファームウェアを互換性のあるレベルに同時にアッ プグレードできるよう支援するために、*Cisco Host Upgrade Utility* を提供しています。

サーバには、シスコが提供し、承認しているファームウェアが使用されています。シスコは、 各ファームウェアイメージと共にリリースノートを提供しています。ファームウェアを更新 するには、いくつかの実行可能な方法があります。

 ファームウェア更新の推奨される方法: Cisco Host Upgrade Utility を使用して、Cisco IMC、 BIOS、およびコンポーネントファームウェアを互換性のあるレベルに同時にアップグレー ドします。

最新のファームウェア リリースについては、『Cisco Host Upgrade Utility Quick Reference Guide』を参照してください。

- Cisco IMC の GUI インターフェイスを使用して Cisco IMC と BIOS ファームウェアをアッ プグレードできます。
- Cisco IMC の CLI インターフェイスを使用して Cisco IMC と BIOS ファームウェアをアッ プグレードできます。

システム BIOS へのアクセス

- ステップ1 ブート中にメッセージが表示されたら、F2キーを押して BIOS セットアップユーティリティに切り替えます。
 - (注) このユーティリティの [Main] ページに、現在の BIOS のバージョンとビルドが表示されます。
- **ステップ2** 矢印キーを使って、BIOS メニューページを選択します。
- ステップ3 矢印キーを使って、変更するフィールドを反転表示にします。
- ステップ4 Enter キーを押して変更するフィールドを選択し、そのフィールドの値を変更します。
- ステップ5 Exit メニュー画面が表示されるまで右矢印キーを押します。
- ステップ6 Exit メニュー画面の指示に従って変更内容を保存し、セットアップユーティリティを終了します(または、F10キーを押します)。Escキーを押すと、変更内容を保存せずにユーティリティを終了できます。

スマートアクセス(シリアル)

このサーバーは、スマート アクセス(シリアル)機能をサポートしています。この機能により、ホストのシリアルと Cisco IMC CLI を切り替えることができます。

- この機能には、次の要件があります。
 - ・サーバーの背面パネルの RJ-45 シリアル コネクタ、または前面パネルの KVM コン ソール コネクタで DB-9 接続(KVM ケーブル (Cisco PID N20-BKVM)を使用する場 合)を使用することができる、シリアル ケーブル接続。
 - サーバーの BIOS でコンソール リダイレクションを有効にする必要があります。
 - 端末タイプは、VT100+またはVTUFT8に設定する必要があります。
 - Serial over LAN (SoL) を無効にする必要があります (SoL はデフォルトで無効になっています)。
- ホストのシリアルから Cisco IMC CLI に切り替えるには、Esc キーを押した状態で9キー を押します。

接続を認証するために Cisco IMC クレデンシャルを入力する必要があります。

 Cisco IMC CLI からホストのシリアルに切り替えるには、Esc キーを押した状態で8キーを 押します。



- (注) Serial over LAN (SoL) 機能が有効になっている場合は、Cisco IMC CLI に切り替えることができません。
 - ・セッションが作成されると、CLI または Web GUI に serial という名前で表示されます。

スマートアクセス(USB)

このサーバーは、スマートアクセス(USB)機能をサポートしています。このサーバーのボー ド管理コントローラ(BMC)は、大容量のUSBストレージデバイスに対応しており、その データにアクセスすることができます。この機能では、フロントパネルのUSBデバイスをメ ディアとして使用して、ネットワーク接続を必要とせずにBMCとユーザ間でデータを転送で きます。これは、リモートBMCインターフェイスがまだ利用可能でない場合や、ネットワー クの不良構成によりリモートBMCインターフェイスにアクセスできない場合などに役立ちま す。

- この機能には、次の要件があります。
 - フロントパネルのKVMコンソールコネクタにKVMケーブル(Cisco PID N20-BKVM) が接続されていること。
 - ・USB ストレージデバイスが、KVM ケーブルにより、いずれかの USB 2.0 コネクタに 接続されていること。。電流保護回路による切断を避けるため、USB デバイスの電流 消費は 500 mA 未満である必要があります。



- (注) KVM ケーブルに接続されているマウスまたはキーボードは、ス マートアクセス (USB) を有効にすると切断されます。
 - ・USB 3.0 ベースのデバイスも使用できますが、動作速度はUSB 2.0 の速度になります。
 - ・USB デバイスには1つのパーティションのみを設定することをお勧めします。
 - ・サポートされているファイル システム形式は、FAT16、FAT32、MSDOS、EXT2、 EXT3、および EXT4 です。NTFS はサポートされません。
 - •フロントパネルの KVM コネクタは、ホスト OS と BMC 間 で USB ポートを切り替える ように設計されています。
 - スマートアクセス(USB)は、いずれかのBMCユーザーインターフェイスを使用して有効または無効にすることができます。たとえば、ブートアップ中にメッセージが表示されたときにF8を押すことにより、Cisco IMC設定ユーティリティを使用できます。

- 有効時:フロントパネルの USB デバイスは BMC に接続されます。
- ・無効時:フロントパネルのUSBデバイスはホストに接続されます。
- 管理ネットワークを使用してリモートで Cisco IMC に接続できない場合は、シリアルケーブルを介してデバイスファームウェアアップデート(DFU)シェルを使用できます。テクニカルサポートファイルを生成し、フロントパネルの USB ポートに装着されているUSB デバイスにダウンロードすることができます。



サーバの仕様

サーバの仕様 (39ページ)

サーバの仕様

この付録では、サーバの物理仕様、環境仕様、および電源仕様を示します。

- 物理仕様 (39ページ)
- •環境仕様 (40ページ)
- •電力仕様 (42ページ)

物理仕様

以下の表に、サーバ バージョンの物理仕様を示します。

表 5:物理仕様

説明	仕様
高さ	43.2 mm(1.7 インチ)
幅	429.0 mm(16.9 インチ)
奥行(長 さ)	サーバーのみ:740.3 mm(29.5 インチ)
	サーバーとスライドレール:787.4mm (31.0インチ)
重量	最大:17.0 kg(37.5 ポンド)
	最小:13.2 kg(29.0 ポンド)

I

環境仕様

以下の表に、サーバの環境要件と仕様を示します。

表 6:物理仕様

説明	仕様
温度 (動作時)	10°C~35°C(50°F~95°F)、直射日光の当たらない場所
	海抜 300 m ごとに最高温度が1℃低下。
	(注) ASHRAE のガイドラインでは動作範囲が異なる複数のクラス が定義されていますが、推奨される温度と湿度の動作範囲は クラスごとに同じです。推奨される温度と湿度の範囲は次の とおりです。
	•動作温度:64.4°F~80.6°F(18°C~27°C)
	詳細情報については、『Cisco ユニファイドコンピューティン グシステムサイトプランニングガイド: データセンターの電源 と冷却』を参照してください。
非動作時温度	-40°Cより低いか、65°Cを越える(-40°Fより低いか、149°Fを越える)
(サーバが倉庫にあるか運送中の場合)	最大変化率(動作時と非動作時)20°C/時(36°F/時)
拡張動作温度	5°C~40°C (41°F~104°F) 、直射日光の当たらない場所
	機能低下までの最大許容動作温度
	950 m(3117 フィート)を越える場所で 1°C/175 m(1°F/319 フィート)
	5°C~45°C (41°F~113°F)、直射日光の当たらない場所
	機能低下までの最大許容動作温度
	950 m(3117 フィート)を越える場所で 1°C/125 m(1°F/228 フィート)
	拡張動作温度の範囲で動作している場合、システム パフォーマンスに
	影響が出ることがあります。
	40°C 超での動作は、年間
	動作時間の1%未満に制限されます。
	ハードウェア構成の制限が拡張動作温度範囲に適用されます。
湿度(RH)(動作時)	8~90%、最大露点温度 24°C (75°F) 非凝縮環境
湿度(RH)(非動作時)	5%以下または95%以上、最大露点温度33oC(91oF)、非凝縮環境
(サーバが倉庫にあるか運送中の場合)	

高度 (動作時)	0~10,000 フィート
非動作時高度	0~40,000 フィート
(サーバが倉庫にあるか運送中の場合)	
音響出力レベル	5.8
ISO7779 に基づく A 特性音響出力レベル LwAd(Bels)を測定	
23°C(73°F) での動作	
騒音レベル	43
ISO7779に基づくA特性音圧レベルLpAm (dBA)を測定	
23°C(73°F) での動作	

ネットワーク インターフェイス カードに関する考慮事項

このセクションでは、Cisco Application Policy Infrastructure Controller(APIC)APIC M4/L4の ネットワーク インターフェイス カード(NIC)のサポートと考慮事項について説明します。 次のサポートされているネットワーク インターフェイス カードは、Cisco APIC M4/L4の PCIe ライザー 01 に挿入する必要があります。

- APIC-P-I8D25GF (2 X 10/25G SFP28)
- APIC-P-ID10GC (2 x 10GBase-T)



(注) サポートされるネットワークインターフェイスカードには、次の考慮事項があります。

- APIC-P-I8D25GF の 10/25GbE ポートは、10G または 25G ポートとして使用できます。す べてのポートが同じ速度である必要があります。
- Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) リーフと Cisco APIC M4/L4 間の 25G 接続には、銅ケーブルを使用する必要があります。たとえば、Cisco SFP-H25G-CU1M。次のトランシーバオプションのリストを酒匂にしてください。
 www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/transceiver-modules/datasheet-c78-736950.html
- APIC-P-ID10GC は、Cisco ACI リーフノードへの 10G Base-T 接続をサポートします。

NIC モードのその他の考慮事項と詳細については、NIC モードおよび NIC 冗長化の設定 (35 ページ) を参照してください。

電力仕様

表 7: M4 システム負荷の見積もり

システムのワークロード要因	50%	75%	100%
最大入力電力	409.91 W	409.91 W	409.91 W
入力電力	268.24 W	338.59 W	409.91 W
アイドル時入力電力	129.18 W	129.18 W	129.18 W
入力電流	1.13 A	1.43 A	1.72 A
エアーフロー	31.69 cfm	40 cfm	48.43 cfm
冷却	915.28 BTU /時	1155.31 BTU /時	1398.68 BTU /時

表 8:L4 システム負荷の見積もり

システムのワークロード要因	50%	75%	100%
最大入力電力	429.85 W	429.85 W	429.85 W
入力電力	280.83 W	355 W	429.85 W
アイドル時入力電力	134.26 W	134.26 W	134.26 W
入力電流	1.19 A	1.5 A	1.81 A
エアーフロー	33.18 cfm	41.94 cfm	50.78 cfm
冷却	958.22 BTU/時	1211.31 BTU/時	1466.71 BTU/時



(注) サーバ内で異なるタイプ/ワット数の電源装置を組み合わせて使用しないでください。両方の 電源装置が同じである必要があります。

次の URL にある Cisco UCS Power Calculator を使用すると、ご使用のサーバ設定の電源に関する詳細情報を取得できます。

http://ucspowercalc.cisco.com [英語]

サポートされている電源オプションの電源仕様を次に示します。

770 W AC 電源装置

このセクションでは、各 770 W AC 電源装置の仕様を示します(Cisco 部品番号 APIC-PSU1-770W)。

表 9:770 WAC 仕様

説明	仕様
AC 入力電圧	公称範囲:100~120 VAC、200~240 VAC
	(範囲:90~132 VAC、180~264 VAC)
AC 入力周波数	公称範囲:50~60 Hz
	(範囲:47~63 Hz)
最大 AC 入力電流	100 VAC で 9.5 A
	208 VAC で 4.5 A
最大入力電圧	950 VA @ 100 VAC
最大突入電流	15 A (サブサイクル期間)
最大保留時間	12 ms @ 770 W
PSU あたりの最大出力電 カ	770 W
電源の出力電圧 	
電源スタンバイ電圧	12 VDC
効率評価	Climate Savers Platinum Efficiency (80Plus Platinum 認定)
フォームファクタ	RSP2
入力コネクタ	IEC320 C14

1050 W DC 電源装置

ここでは、各1050WDC電源装置の仕様を示します(Cisco部品番号UCSC-PSUV2-1050DC)。

表 10:1050 W DC 仕様

説明	仕様
DC 入力電圧	公称範囲:-48~-60 VDC
	(範囲:-40 ~ -72 VDC)

最大 DC 入力電流	32 A(-40 VDC 動作時)
最大入力ワット数	1234 W
最大突入電流	35 A(サブ サイクル期間)
最大保留時間	100%の負荷で5ms(1050Wメインおよび36Wスタンバイ)
PSU あたりの最大出力電	1050 W(12 VDC メイン電源)
カ 	36 W (DC 12 V スタンバイ 電源)
電源の出力電圧	12 VDC
電源スタンバイ電圧	12 VDC
効率評価	≥92%(負荷 50%)
フォーム ファクタ	RSP2
入力コネクタ	固定3線ブロック

電源コードの仕様

サーバの各電源装置には電源コードがあります。サーバとの接続には、標準の電源コードまた はジャンパ電源コードを使用できます。ラック用の短いジャンパ電源コードは、必要に応じて 標準の電源コードの代わりに使用できます。



主) 以下にリストされている認定済みの電源コードまたはジャンパ電源コードのみサポートされています。

表 11: サポートされている電源コード

説明	長さ (フィート)	長さ (メートル)
CAB-48DC-40A-8AWG	11.7	3.5
DC 電源コード、-48 VDC、40 A、8 AWG		
3 線の 3 ソケット Mini-Fit コネクタ		
CAB-C13-C14-AC	9.8	3.0
電源コード、10A、C13~C14、埋め込み型コンセント		

CAB-250V-10A-AR	8.2	2.5
AC 電源コード、250 V、10 A		
アルゼンチン		
CAB-C13-C14-2M-JP	6.6	2.0
AC 電源コード、C13 ~ C14		
日本 PSE マーク		
CAB-9K10A-EU	8.2	2.5
AC 電源コード、250 V、10 A、CEE 7/7 プラグ		
ヨーロッパ		
CAB-250V-10A-IS	8.2	2.5
AC 電源コード、250 V、10 A		
Israel		
CAB-250V-10A-CN	8.2	2.5
AC 電源コード、250 V、10 A		
中国		
CAB-ACTW	7.5	2.3
AC 電源コード、250 V、10 A		
台湾		
CAB-C13-CBN	2.2	0.68
AC キャビネットジャンパ電源コード、250 V、10 A、		
$C13 \sim C14$		
CAB-C13-C14-2M	6.6	2.0
AC キャビネット ジャンパ電源コード、250 V、10 A、		
$C13 \sim C14$		
CAB-9K10A-AU	8.2	2.5
AC 電源コード、250 V、10 A、3112 プラグ		
オーストラリア		
CAB-N5K6A-NA	8.2	2.5
AC 電源コード、200/240 V、6 A		
北米		

CAB-250V-10A-ID	8.2	2.5
AC 電源コード、250 V、10 A、		
インド		
CAB-9K10A-SW	8.2	2.5
AC 電源コード、250 V、10 A、MP232 プラグ		
スイス		
CAB-250V-10A-BR	8.2	2.5
AC 電源コード、250 V、10 A		
ブラジル		
CAB-9K10A-UK	8.2	2.5
AC 電源コード、250 V、10 A(13 A ヒューズ)、BS1363 プラグ		
英国		
CAB-9K12A-NA	8.2	2.5
AC 電源コード、125 V、13 A、NEMA 5-15 プラグ		
北米		
CAB-AC-L620-C13	6.6	2.0
AC 電源コード、C13 コネクタへの NEMA L6-20		
CAB-9K10A-IT	8.2	2.5
AC 電源コード、250 V、10 A、CEI 23-16/VII プラグ		
イタリア		
R2XX-DMYMPWRCORD	該当なし	該当なし
電源コードなし(電源コードなしでサーバを発注する際のPIDオプション)		

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては 、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている 場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容につい ては米国サイトのドキュメントを参照ください。